

委託費支出明細書

1. 委託費の名称	平成 2 0 年度基準認証研究開発委託費 (建材の部位別性能評価法に関する標準化)	
2. 事業の目的及び内容		
(1) 目的	<p>住生活基本法が公布・施行され、住宅の質的向上のためにも建材レベルでの品質の確保に一層取り組むことが不可欠となっている。しかし、多くの場合材料関連 J I S の規格要求事項は、所定の品質管理された製品である証の指標になってはいるが、ユーザーが建材に求める性能と規格要求事項が整合していない部分がある。そのため JIS の要求事項とは別にその使用目的に合わせて、メーカーの試験結果又は経験に基づいて設計者、施工業者等が材料を選定しているというのが現状である。このような状況を改善し、最終ユーザーの建築部位への要求性能が、設計者と施工業者によって設計に反映され、建材が有する性能によりその選択が行われることを可能とするためには部位別性能評価法に関する規格を確立するとともに、今後材料関連 J I S の規格要求事項と性能評価事項の整合化を求めていく必要がある。</p> <p>このためには各部位毎の要求性能を明確にし、建築材料の製品性能データなどによるシミュレーションと実証試験等に裏打ちされた客観性、信頼性の高い部位別性能評価法等の JIS 及び ISO 規格を確立し、建築関係者に広く普及する必要がある。</p> <p>また、部位別性能評価を行うためには、建築部門関連 JIS 規格が必須であり、JIS 規格のあり方も重要な課題となっている。</p>	
(2) 具体的な内容	<p>本調査研究の具体的な目標として次の課題について取り組む。</p> <p>① 各部位の要求条件及び要求性能の明確化</p> <p>② 部位別性能評価法の検証 (シミュレーション及び実証試験を含む。)</p> <p>③ 部位別性能評価法の JIS 規格原案及び ISO 規格原案の作成</p> <p>④ 生産管理・品質管理のための規格構成から、ユーザー指向型もしくは性能表示型の規格構成への変換</p> <p>なお、調査研究の成果を踏まえ、部位別性能評価を確実にを行うために必要となる、建材に係る JIS の充実化について提言を行う。</p> <p>更には、ユーザーの要求をメーカーに示すものとして規格が出来れば、JIS マーク制度の普及、活用にも意義がある。</p>	
3. 委託先の公益法人の名称	社団法人 日本建材・住宅設備産業協会	
4. 委託費支出実績額	32,817 千円 (A)	
5. 委託費における管理費		
(1) 人件費	9,966 千円	
(2) 一般管理費	1,712 千円	
(3) その他の管理費		
	内 容	金 額
		千円
		千円
	合 計	千円

合 計		11,678千円
6.外部への支出		
(1) 外部に再委託されているものに関する支出		
支出内容	支出先	金 額
性能と試験方法調査	(株)ドット・コーポレーション	2,999千円
シミュレーション業務開発	新日軽(株)	3,047千円
		千円
		千円
合 計		6,047千円(B)
(2) (1) 以外の支出		
支出内容	支出先	金 額
外注 (試験)	江藤電機(株)	5,000千円
外注 (シミュレーションデータ作成・入力)	建築環境ワークス協同組 合	1,500千円
報告書作成	共同信和	399千円
雑役務費	JFEテクノ他	452千円
合 計		7,351千円
7.その他		
内 容		金 額
その他事業費		7,741千円
		千円
合 計		千円
8.再委託の割合		18.4 % (B/A)